

### 教育民生部会の審査項目

|      |  |                      |
|------|--|----------------------|
| 条例関係 | ・岩沼市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について  |                      |
| 一般会計 | 歳出の部   | 教育部および健康福祉部の所管に属するもの |
| 特別会計 | ・令和8年度岩沼市国民健康保険事業特別会計予算について<br>・令和8年度岩沼市後期高齢者医療特別会計予算について<br>・令和8年度岩沼市介護保険事業特別会計予算について |                      |

## 教育民生部会審査

### 教育民生部会委員の質疑および答弁

|   |   |
|---|---|
| <p>議者 佐藤剛太</p> <p>問 岩沼市では、児童・生徒の不登校率が県内でも高い状態にある。しかし、不登校の原因はさまざまな理由があると考えられる。原因によっては、こども家庭センターが教育委員会のどちらかが担当になると考えるが、このような場合は窓口を一つにして連携して行うべきではないか伺う。</p> <p>こども家庭センター<br/>・家庭児童相談等事業</p> | <p>答 岩沼市では、児童・生徒の不登校率が県内でも高い状態にある。しかし、不登校の原因はさまざまな理由があると考えられる。原因によっては、こども家庭センターが教育委員会のどちらかが担当になると考えるが、このような場合は窓口を一つにして連携して行うべきではないか伺う。</p> <p>こども家庭センター主幹 市内の不登校の児童・生徒は増加していて、不登校にはさまざまな要因が考えられま</p> <p>す。その中でさまざまな係があり、多くの方法で相談ができた方がいいと考えています。さらには月に一度、相談窓口を持つ相談員が一堂に参加する会議を行って情報を共有しています。</p>  |
| <p>議者 高梨明美</p> <p>問 心のケアハウス「あいるーむ」の県費補助が最終年度になるが、今後の方向性を伺う。</p> <p>学校教育課<br/>・教育費</p>   | <p>答 「あいるーむ」を閉鎖することは、ニーズからすると現実的ではないと考えており、市費での継続を検討しています。</p> <p>また、現在4中学校で学び支援を設けていますが、将来小学校への拡充も考えており、支援教室への方向転換もできると考えています。</p> <p>5歳児健診での支援体制を伺う。</p> <p>学校教育課主査 子ども家庭センター</p> <p>や学校医の先生とカンファレンスを行い、気になる児童の情報共有を行っています。それらの情報を踏まえて入学前年度に就学相談を行い、特別支援学校、特別支援学級、通常学級など、どの環境が適しているのか検討します。</p> |
| <p>議者 植田美枝子</p> <p>問 タブレットの買い替えで4,000台購入と、金額もとても大きいと思う。いくつかの業者から購入するのか。また、下取りとか処分料について、どのような交渉を行っているのか伺う。</p> <p>学校教育課<br/>・教育費</p>   | <p>答 購入先は県が県域で共同調達をしています。今年度はみやぎGIGAスクール共同事業者という複数業者からなる事業者が入札しています。そこから各自治体に担当業者が割り当てられて、割り当てられた業者と随意契約を結んでいます。下取りはさまざまな自治体や業者から情報収集を行っており、現在3社と話を進めています。</p> <p>宮城県で一括入札をして、それを振り分けるので岩沼市での入札はないのか。</p> <p>学校教育課主査 入札公示等については県が実施し、落札後にその中の業者と随時契約をします。</p>                                     |

## 教育民生部会

- 部長 佐藤剛太  
委員 植田美枝子  
高橋光孝
- 副部長 高梨明美  
大友健  
沼田健一

教育民生部会委員の質疑および答弁

|   |   |  |  |                    |
|---|---|--|--|--------------------|
|  <p><b>大友 健</b></p>    | <p><b>社会福祉課</b><br/>・日本赤十字社事業</p>   | <p><b>問</b> 日赤会費の募集事務ということだが、実際に「募金・寄付集め」をするのは町内会だ。慣例、歴史はあるけれど、日赤の集金コストがゼロで、町内会に負担を強いている現実は今、考える時期ではないか。</p> <p><b>社会福祉課長</b> 趣旨に賛同して協力いただける方という前提で続けていきたいですし、必要な事業だと思っております。</p> <p><b>問</b> 社会福祉課が領収書を作成し、過去3年ほどの記録が見られ、この人は協力しているとか、出していないとか分かるものを作っている。これが、「任意の募金」の在り方なのか。役所が深く関わっている。</p> <p><b>社会福祉課長</b> 区長会のとときに趣旨を説明し、ご理解を頂いていると思っております。周知や説明が足りなければ、そのやり方を検討します。</p> |  |                    |
|  <p><b>大村 晃一</b></p>   | <p><b>学校教育課</b><br/>・小学校情報教育推進事業</p>  | <p><b>問</b> タブレット端末の一斉更新の予算が計上されているが、交換時期はいつごろになるのか。</p> <p><b>学校教育課主査</b> 入れ替え時期は令和8年12月を予定しています。</p> <p><b>問</b> 今年度は壊れた時に中古品をかき集めて対応するなど、端末確保に苦労したとも聞いている。タブレット端末の入れ替え時期まであと1年程度期間があるが、代替機を確保する来年度の予算や、対応はどのように考えているのか。</p> <p><b>学校教育課主査</b> タブレットの代替機については、年々児童生徒数が減っている分、その分を代替機に充てようと考えています。また、修繕費は需用費に25万円計上していますので、もし代替機がなくなった場合は、そこから修繕費を支出する予定です。</p>               |  |                    |
|  <p><b>高橋 光孝</b></p> | <p><b>介護福祉課</b><br/>・地域支援事業費</p>  | <p><b>問</b> 岩沼市の人口構成で70歳から74歳・45歳から54歳が多く、今後30年は介護保険の予算・事業規模は拡大していくが、市内のデイサービスや特別養護老人ホームなど施設は間に合うのか。また、介護職員不足が言われる中でどのような方針で進めていくのか。</p> <p><b>介護福祉課長</b> 市内の施設は民間事業者が協力いただき整備は進んでおり、施設待機はある程度緩和しています。介護現場での人手不足対策は、市としても施設から在宅介護にある程度シフトしていく必要があると考えています。また、ITの活用や外国人人材の活用など、国の動向を注視しながら県と連携し、健康寿命を延ばし、できる限り介護を受けない健康づくり・介護予防の取り組みを進めていきます。</p>                               |  |                    |
|  <p><b>沼田 健一</b></p> | <p><b>学校教育課</b><br/>・教育費</p>  | <p><b>問</b> 学校施設の長寿命化計画について、岩沼小学校、岩沼北中学校が50年、岩沼南、西、玉浦小学校、岩沼中学校が40年経っている。これら6校の状況を踏まえての長寿命化計画は、どのように考えているのか。</p> <p><b>学校教育課長補佐</b> 長寿命化計画は基本的に40年経過した施設を今後30年以上使えるかどうかというものを調査し、計画していきます。8年度の予定は施設の現状を把握し、コンクリートの中性化や水道配管であるとか専門的に調査し、将来需要の分析や整備方法の整備、また財政シミュレーションを行い優先順位を明確化し、それとともに年次計画を立てたいと思います。</p>   |  |                    |
|  <p>①北部地区老人憩の家</p>     |  <p>②北部地区老人憩の家</p> |  <p>岩沼南小学校</p>  |  <p>東保育所</p> | <p><b>現地調査</b></p> |